

新年度が始まりました！

①1・2年生のみなさんへ

1年生は4月10日(火)のオリエンテーションの際、進路部長の千葉享先生から進路について大事なお話を聞きました。当たり前のことですが、情勢を知るためには「新聞を読む」ことが大切です。また、少子化の影響で、企業側も優秀な人材を厳選して採用する傾向になっていきます。まずは1年、『自分探し』をしながら、自分の進みたい道への準備をしていきましょう。

2年生は『自分作り』の時期です。高校生活の中でも、1番時間が経つのが早いと感じることでしょう。そんな中だからこそ、勉強はもちろんのこと、部活動に資格取得、ボランティア活動や地域交流など、多くの財産を築くことができます。

一つでも多く資格を取得する、皆勤を目指す、部活動に打ち込む

など実りの多い高校生活を過ごしましょう。

②3年生のみなさんへ

いよいよ『自己実現』に向け進路を真剣に考え、決定する時期です。

保護者や担任と綿密に面談を行い、将来を見据えた適切な進路選択をしてください。最近ではAI(人工知能)により様々なサービスやソフトがAIに移行されています。その中で、我々人間が力を発揮できることは、まさに「人間力」です。企業では、「コミュニケーション能力」や「主体性」を重視しています。その他、「失敗しても粘り強く取り組む実行力」や、「自ら疑問を持ち考える力」、「仲間と共に目標に向かって協力する力」も求められます。自分に備わっている適性を見出し、伸ばしていきましょう。

平成29年度卒業生の進路内定状況

科名	男女別	在籍	就職希望者			内定者数			就職内定数	就職合計	進学希望者				進学合格者				進学合計	進路決定	公務員	進路未選択者	
			管内	県内	県外	管内	県内	県外			四年制	短大	専修学校	発施設等	職業能力開	四年制	短大	専修学校					発施設等
電子機械	男子	11	3		5	3		5	8 / 8	11 / 11	1		2		1		2		3 / 3	14 / 14	/		
	女子	3			3			3	3 / 3	100 %									100 %	100 %	/		
建設環境	男子	23	4	1	14	4	1	14	19 / 19	22 / 22	2	1		1	2	1		1	5 / 5	27 / 27	/		
	女子	4	2	1		2	1		3 / 3	100 %	1				1				100 %	100 %	/		
合計	男子	34	7	1	19	7	1	19	27 / 27	33 / 33	3	1	2	1	3	1	2	1	8 / 8	41 / 41	/		
	女子	7	2	1	3	2	1	3	6 / 6	100 %	1				1				100 %	100 %	/		
			41	9	2	22	9	2	22			4	1	2	1	4	1	2	1				

*公務員は就職内定数に含まず

※昨年度も積極的な求人活動になり8年連続の 進路決定率100% となりました。

※就職は県外が約66.7%、県内・管内が約33.3%でした。

※第1希望の企業や進学先に合格した人もいますが、中には複数回チャレンジし、内定・合格を勝ち取った人もいます。また久慈工の問題として、離職率が意外と高いことが問題(ミスマッチ)になっているので、よく見極めましょう。

どの進路を選ぶか？

就職

☆就職（民間企業等）

～就職試験までの流れ～

- ① 7月1日から、求人票が高校に送られてくる。
- ② 三者面談までに受けたい企業を絞り込んでおき、求人票到着後に決定する。
- ③ 夏休み直前に校内選考をする。
- ④ 夏休み中に会社見学をする。
- ⑤ 夏休み終了後すぐに、履歴書・調査書を作成し発送する。
- ⑥ 9月16日の統一選考日から受験開始。その後は、随時受験する。

～校内選考基準～

- ・企業への応募・推薦は、9月中は1人1社のみ。10月以降は2社まで可能とする。
- ・推薦で内定した後は、取り消し（辞退）はできない。
- ・欠点、欠席・欠課、生徒指導上の問題がある者は校内推薦を保留する。
- ・その他、公務員と民間企業との併願は認められない等。

※受験はすべて校長推薦となるため、必ず校内選考を通らなければならない（生活・態度・学習成績・欠席日数・部活動実績などが見られる）。制服・頭髪・眉毛などの身だしなみは毎日整えましょう。

※求人受付件数は昨年度、約1,214件とここ数年増加傾向ですが、企業が求める力を身につけなければ採用されません。

採用試験の一例

- ① 面接試験（人物を評価する）
- ② 学力試験（基礎学力が定着されているか）
- ③ 作文試験（文章から本人の思考や特性を評価する）
- ④ 適性検査（SPIなどで本人の性格や個人・集団の行動特性、耐ストレス性を判断する）

☆公務員

○国家公務員と地方公務員があり、職種は工業専門の他に、県庁・市役所・町役場の事務、税務署職員、警察官、消防官、刑務官などがある。試験は通常、適性検査・一般教養・一般知能・作文・面接などによって決定される。

※どの職種も国公立大学受験と同じくらいの**厳しい競争倍率**となり、**学習量と知識と識見が必要**とされる。1・2年生のうちから受験準備をしなければ間に合わない場合が多い。

進学

☆4年制大学 4月からの課外指導にしっかり参加し、受験対策を整えましょう！

○理論や技術などを幅広く、深く学び研究する場である。卒業すれば学士号の学位が与えられる。

取得できる主な資格は、教員免許、学芸員、図書館司書などである。

○本校では、指定校推薦で私立の工業大学へ進学する生徒やAO入試で専門外の学部を目指す場合等がある。

～大学入試受験基準～

- ・HR担任に進学希望の旨を伝え、志願先が本人の適性・能力に見合っているか判断し、指導を行う。
- ・学校長推薦の場合、他校との併願は認めない。決定後は、誓約書を提出する。
- ・推薦枠以上に複数で希望がある場合は、成績、出欠席、課題提出、整容等を加味して、総合的に判断する。

☆専修学校（専門学校）

○入試は、高校の授業を集中して受けていれば決して難しくないが、医療系学科は人気も高く難易度が高い。

○学校数が多く、「認可校」か「無認可校」であるかを吟味すべきである。学費やその他諸経費、カリキュラム、取得できる資格、就職指導体制などを良く研究することが必要である。

*求人状況を詳しく知りたい、自分がどのような仕事に向いているか分からない、どのような学校があるか調べたい人は、**どんどん進路指導室を活用しよう！**

注意事項：許可を得てから入室する（誰もいないときは、職員室で断ってから使用してください）**室内での飲食は禁止します！**